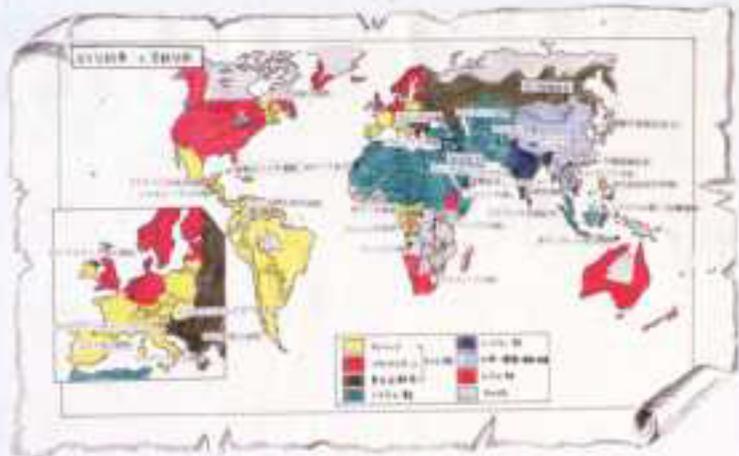


ぼくがいったことのないしらないくにおともだちとおはなしをしたりあそんだりしてみたい



おともだちに会いに国際学校へ行こう！



国際教育を使うことで解決できる国際交流の問題点

- *留学するには資金が足りない。
 - 大規模な建築を建てて必要な費用がなく安い
 - 留学に行く必要がないと費用負担がかかる
- *航空の危険があるので空飛（留学）できない。
 - 政治的な問題でないでの判断？
- *留学するには施設がない。
 - これがであれば大学生、ユースホステルで集めて解決
- *映画や書籍に在り人やストリートカルドレンなどは経済的にも地理的にも留学は難しい。
 - 必要な経費はユニセフを通して世界中から集めます
- *言語が違うために、スムーズなコミュニケーションができない。
 - 世界言葉には多言語翻訳機能がついているので安心

英会話ここから！

国際化、ユニセフによる国際理解の促進等、様々なアシストがされています。
国際化した社会への入り口、
国際教養のための学習教材、
英語の教科書などは世界中のもの

第二次世界大戦後の国際問題は、戦後の租借、開拓地の統治など、いかに国際社会が協力が深まるか、根本を解決には、至っていないせん。
政治的・経済的・文化的・技術的・資料などたくさんの問題を抱えています。
他にも北朝鮮など、世界の情勢が複雑化している社会もあります。
競争も、情報によって操作され、暴力によって国際秩序を保とうとしています。
情報の世界を競争が争うことになる日々は、ないでしょうか。

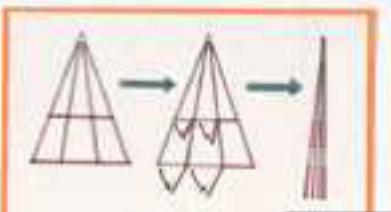
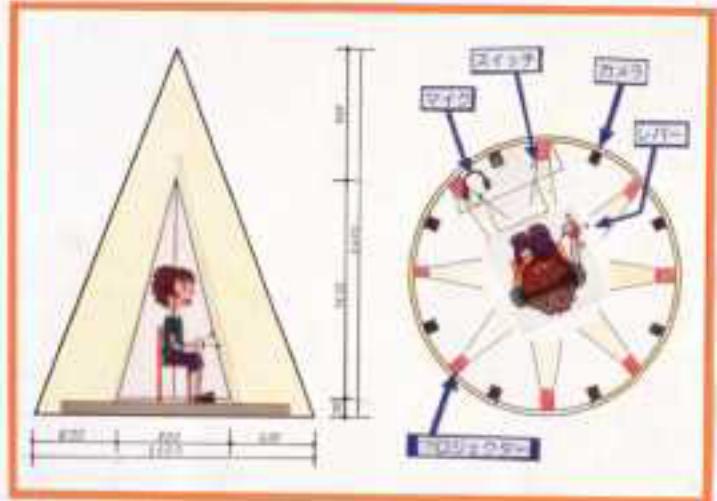
私たちがこの創造して情報を活用して
世界中の子供達が安全できる国際学校を考え
ました。若い世代の世界の風土、文化を通じて
国際問題の解消となりうる理解や
発見、技術の新しい考え方や考え方や新しい考え方
ことができるのではないかでしょうか？



ぼくがいったことのない しらないくにのおともだちとおはなしをしたりあそんだりしてみたい

板橋区校-B・M・S
——キャラクターデザイン——

「インター席」と「窓の椅子」、(園庭木間に沿壁)を組じて、
世界公民としての意識。
いろいろな国の経験、言葉遊びを組み、また互いに異文化を
おもてに見て、そして他の人の個性や知識を教えるよ。」



ナント窓
前のたたみが可動
椅子(通称)の説明

ロリオスターだとさらに座面張りの面倒に悩む
椅子の背もたれから出ます
レバーを握って各部想定通りに操作する
操作が手の筋肉を鍛え、大人だけアツ
操作が手筋肉を鍛えました
動作が手筋肉を鍛えます
動作が手筋肉を鍛えます
動作が手筋肉を鍛えます



ぼくがいったことのないしらなくともおともだちとおはなしをしたりあそんだりしてみたい

「二回、おまえの運営費を支度の一回目です。
今更に、こんな額の運営費もだめか?」
一回、何が正確をしてくるのです?
「うう。ちょっとこの辺の算定してみますよ。」



三、大革命时期，中国共产党在领导工农运动方面取得的成就，是通过以下途径实现的：①领导工人运动，如京汉铁路工人大罢工等；②领导农民运动，如湖南衡东农民暴动等；③领导学生运动，如五四运动等；④领导军阀斗争，如北伐战争等。

1. 为什么说，物质的量浓度是化学中最基本的浓度表示方法？
2. 为什么说，摩尔质量是物质的量浓度的计算依据之一？
3. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？
4. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？
5. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？
6. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？
7. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？
8. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？
9. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？
10. 为什么说，物质的量浓度的计算公式是物质的量浓度的计算依据之一？



2

アート・トピカル・アート・コレクション



3

ぼくがいったことのないしらなくにおともだちとおはなしをしたりあそんだりしてみたい



この言語を用することによって世界で起こっている事や文化を理解、貢献して知ることができる今までの視解が範囲が広くなり世界のところから正しく深い視解を得てゆくだけでしょう。

今、世界は露頭暗礁、白水激流などに走るまさに国際問題を抱えていいます。そしてビル・クライン著者をして世界の上から静観は出来なくならず、また同じ道を歩むべきか迷っています。これらの問題が解決するには多くの経験豊かな頭とされるでしょう。しかし、日本在米同胞たる正しい国際知識を持った手本が出来ることでいつかは自ら頭と手を使おうとするところでの経験が出来ることはないでしょうか?

